

## Zone A 学校

### 21世紀の学びを実践する教師の学習コミュニティを培う —多様な子どもたちの学びと育ちを支える学校・園の在り方を探る—

Zone Aは、これまで(1)「専門職の学び合うコミュニティ(Professional Learning Communities)」を培う学校・園改革の在り方と(2)「多様な子どもたちの学びと育ちを支えるコミュニティ」を培う教育の在り方を検討してきました。そして、前回新たな取り組みとして、この二つのテーマを融合して実施しました。その中でも、「21世紀型の学びを支える教師の学習コミュニティを培う」というテーマを掲げて、学校や園が持続・発展していくための授業改革・教師協働の在り方や、多様な背景や困り感を持つ子どもも含めたすべての子どもがあるがままの存在として生き育つことのできる教育の在り方について議論を積み重ねてきました。そこでは、子どもがありのままの自分を出せない難しい学校の状況があり、どの学校・教師も苦しさや辛さを抱えながら、時に重圧に押しつぶされそうになる実態の中で、また教師主導の授業から抜け出すことが難しいなどの悩みが共有された。このような状況を踏まえつつ、教師間、子ども間、教師と子ども間の学習コミュニティの学びを深めていくためには対話や協働の在り方をもう一度見つめ直すことが重要である点を参加者とともにより共有してきました。これらの視点は、教育・保育を考える上で極めて重要だと言えます。

そこで、実践研究福井ラウンドテーブル2022 Spring Sessionsでは、引き続き同様のテーマを検討します。具体的には、一人ひとりの子が個性や能力を発揮し、学び合い育ち合う学校を実現するための「主体的・対話的で深い学び」をどうデザインすればよいのか、そのために教職員が協働していく組織をいかに構築していくのかについて、参加者のみなさまと共に協働探究し、対話や協働の質をいかに高めていくのかを検討したいと思います。

Connection	12:00-13:00	接続
Orientation	13:00-13:10	オリエンテーション
Session I	13:10-15:10	Webinar Symposiums 「多様な子どもたちの学びと育ちを支える学校づくり」

#### <シンポジウム>

13:10-15:10

#### <シンポジスト>

13:10-13:35	軽井沢風越学園	教諭	片岡 利充 先生
13:35-14:00	福井県立武生高等学校	教諭	室井 浩貴 先生

探究的な学習プロセスの中で、相互作用を通して子どもたちが学び合っていくストーリー、それを支える先生たちの組織・コミュニティについて話題提供を踏まえて考えていきます。

全体討議	14:10-15:10	<指定討論> 福井大学連合教職大学院	コーディネーター	牧田 秀昭
<休憩>		<コーディネーター> 福井大学連合教職大学院		准教授 宮下 正史

Session II	15:30-17:00	Webinar Breakout Room
現状共有と 明日への 展望 Cross- session		Session I の議論に基づき、参加者それぞれの学校づくりの長い実践を共有し、新たな出会いと協働を編み込んでいきます。校種等をクロスした小グループ形式での対話を編み込み、実践をデザインし、展望を生み出します。